

第 6 回日中韓鑑定評価協力会議 開催報告

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会
国 際 委 員 会



去る 5 月 29 日（木）、韓国ソウルの韓国鑑定評価士協会（KAPA）グランドホールにおいて、日本、中国、韓国の鑑定業界における現状と今後の展望に関する相互理解を図り、また 3 カ国間の交流を深めることを目的とする「第 6 回日中韓鑑定評価協力会議」が開催されました。

開会式では、KAPA のヤン・ギルス会長の代表挨拶や韓国国土交通部からの来賓紹介、各国を代表して吉村会長及び中国房地产估价师与房地产经纪人学会（中国不動産評価士兼仲介士学会：CIREA）のワン・シア事務局次長による挨拶が行われました。



左から、ヤン・ギルス KAPA 会長、吉村会長、ワン・シア CIREA 事務局次長

本会議は「不動産テックと鑑定評価」をメインテーマに掲げ、2 つのテーマに分かれて分科会が実施されました。第 1 テーマ「不動産業界における AI の展望」では、AVM（自動評価モデル）の妥当性、AI・RPA 導入事例、鑑定評価における

AIの活用と課題について、3カ国の代表スピーカーがそれぞれ報告を行いました。続く第2テーマ「不動産テックが鑑定評価に与える影響」では、価格形成要因の予測を踏まえた取引事例比較法の応用、AI技術が評価業務にもたらす可能性、KAPAによる評価支援システムの活用など、実務に直結する話題について発表されました。



会議終了後には、各国代表者によるお土産交換、代表挨拶、参加者によるカラオケやダンスなどの余興が披露される歓迎晩餐会が開かれ、国を越えた交流と親睦を深める貴重な機会となりました。



※ 本会議の詳細は、「鑑定のひろば」231号（令和7年7月発行）において、報告の予定です。

【開催概要】

1. 参加団体

- ・ 日 本 公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会（JAREA）
- ・ 大韓民国 韓国鑑定評価士協会（KAPA）
- ・ 中華人民共和国 中国房地产估价师与房地产经纪人学会（CIREA）

2. 開催日・場所

- (1) 開催日 令和7年5月29日（木）
- (2) 開催場所 韓国鑑定評価士協会（KAPA）グランドホール
ソウル特別市瑞草区方背路 52

3. テーマ 不動産テックと鑑定評価

4. 内 容

(1) 分科会

- ① 第一分科会 不動産業界における AI の展望
- ② 第二分科会 不動産テックが鑑定評価に与える影響

以 上